

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No. - (事務局用)	タイトル 室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	自治体名 北海道室蘭市
アイデア名 (注1) (公開)	PSO (Promote Stopover System)		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	屯田兵		
チーム属性 (公開)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム	<input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	4 名		
代表者情報	氏名 (公開)	小澤 怜	
メンバー情報	氏名 (公開)	中田 涼介、前野 順、澤田 恵佑	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。

3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。

7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

### （1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）hj

このシステムは途中下車促進を目的としたシステムである。

システム内では胆振地方のグルメや観光地をピックアップして紹介している。函館から札幌を目指している観光客は乗車中にこのシステムを通じて行きたいと思う地点をいくつか選択する。地点を選択すると、システムは途中下車してから再乗車するまでのスケジュールを自動で生成し、観光客に提供する。

このシステムの肝となるのはスケジュールの自動生成である。観光客が途中下車しづらいと思われる原因として、再乗車の際に乗り遅れた際のプレッシャーが考えられる。これは、本来想定していた行動と違う行動を取ることによって予定外の事が起こるのではないかと想定してしまう不安である。スケジュールの自動生成を行う本システムでは、小移動の際に用いる交通機関や帰りに乗車する電車の時間など、全てを綿密に組み込んで提供する。このスケジュールの通りに行動すれば、上記のような不安は解消され、観光客が安心して途中下車することが可能になる。

上記のようなシステムの都合から、本システムにおける対象は“函館から札幌を目指す観光客の中でも時間に余裕がある人”，具体的には“長時間北海道に滞在する人”としている。

以下にシステムの外形を示す。図1はグルメや観光地を表示したマップ、図2は自動生成されたスケジュールを表している。本システムはスマートフォンのアプリケーションとして提供されることを想定しており、不意に途中下車を思い立った観光客（お腹が空いた等）がすぐに使用することができる。

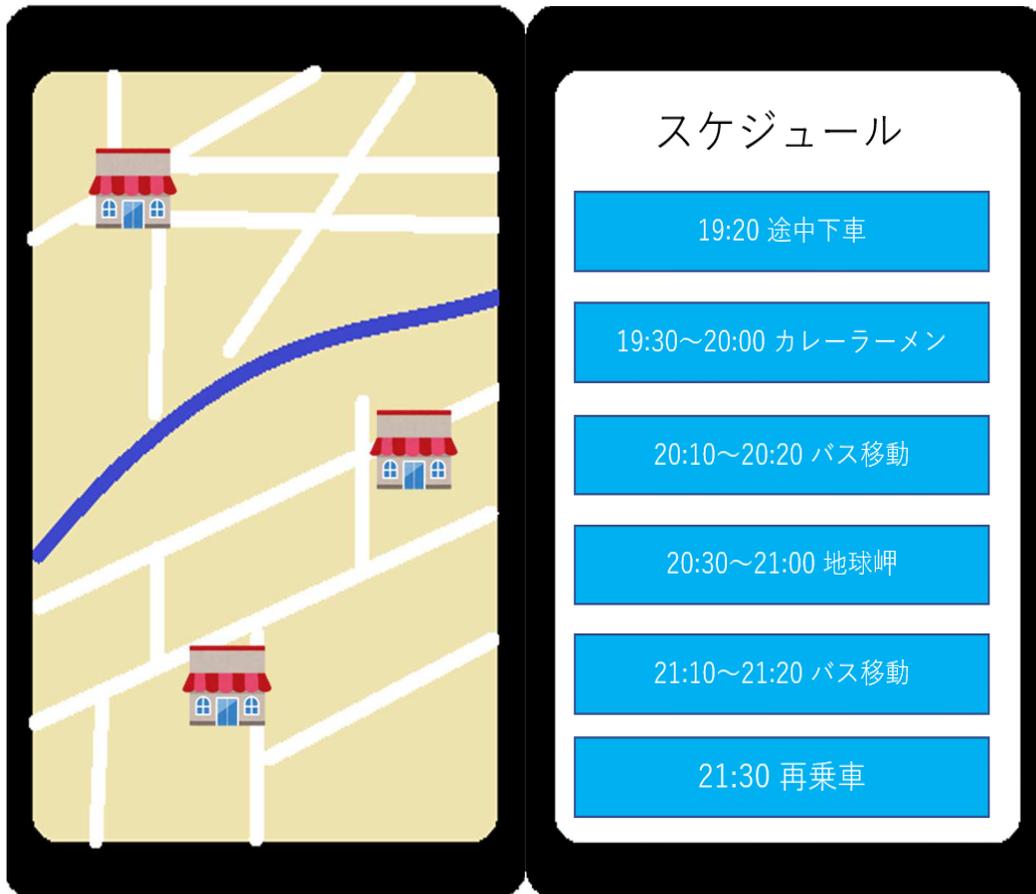


図1 マップ上にピックアップされたグルメ、観光地

図2 自動生成されたスケジュール

## (2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、2 ページ以内でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

### (1) なぜこのターゲットか

ターゲット 1:函館から札幌に向かう観光客

なぜ:札幌は道内 1 位、函館は 3 位の人口を抱え、図 1 を見ても分かるように両者いわずもがな北海道を代表する観光地である。函館、札幌観光は定番の北海道旅行であるといえる。

函館観光を終え、札幌へ向かう観光客をキャッチできれば、大きな経済効果を生み出すはずだ。

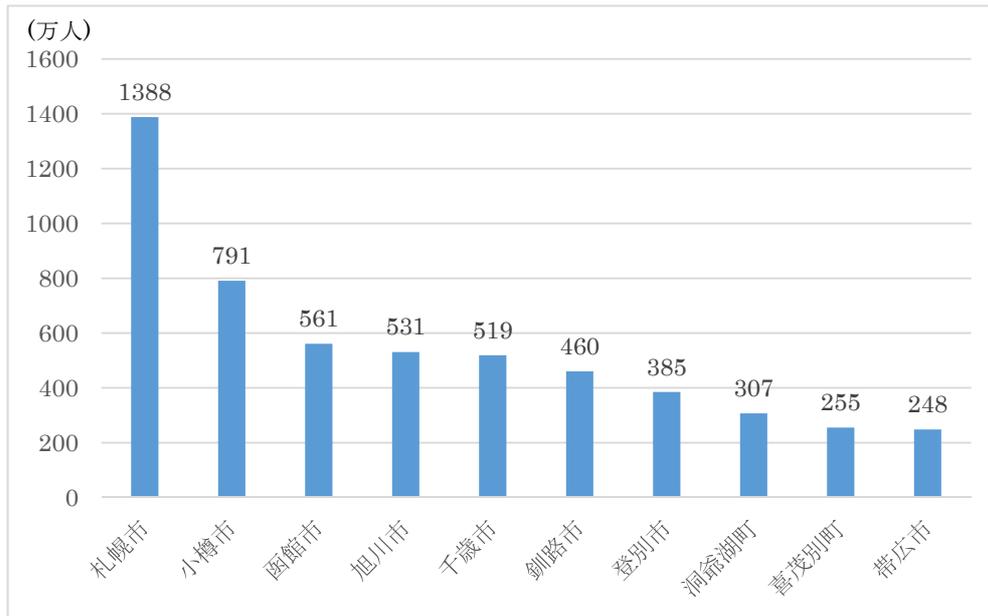


図 1 道内の観光入込客数(実人数)

(北海道観光入込客数調査報告書: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.htm>)

ターゲット 2:時間に余裕のある観光客

なぜ:提案するシステムは旅の途中で予定を変更することをサポートする。その前提条件として、観光の時間に余裕のある観光客をターゲットとする。

ターゲット:詳細な旅行プランを持たない観光客

なぜ:時間がある観光客の中でも、詳細な旅行プランを持たない観光客に対して、PSO システムは力を発揮する。詳細な旅行プランを持たずしても、PSO システムはユーザーの興味をもとに自動で最適なプランを提案できる。

詳細な旅行プランを持たない観光客とは図 2 でいうと交通手段等の手続きが面倒な方、行先等の計画を立てるのが面倒な方があたり、合わせて 50%を超える方達に対して有効である。

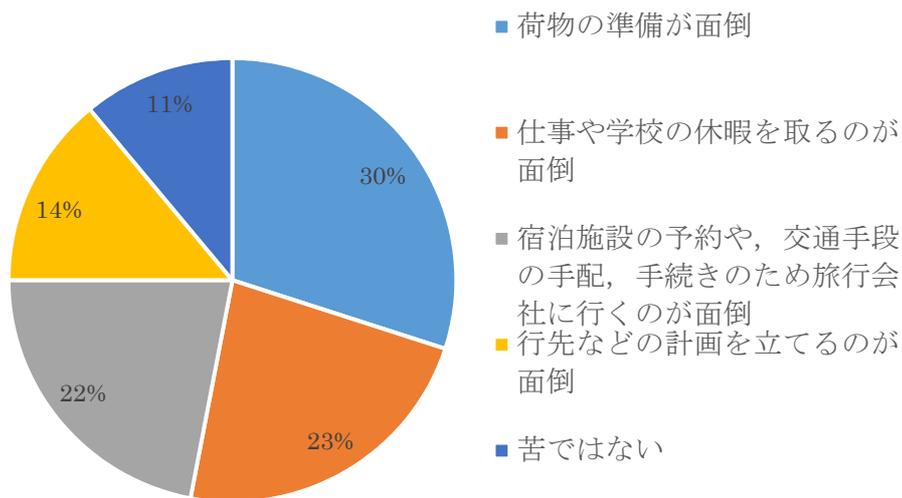


図 2 旅行が苦手な方達が苦と思うこと

(JTB Web アンケート: <https://www.jtb.co.jp/myjtb/tabid/20070309.pdf>)

## (2) 機能の優位性, 必要性

機能: グルメ, 観光地ピックアップシステム

なぜ: 私たちの想定するターゲットは胆振地方に詳しくないことを想定している。そこで、グルメ、観光地ピックアップシステムによって、その地域の有名なグルメ、観光地をユーザーに宣伝する。ユーザーは下調べなし、気軽に途中下車する町を満喫できる。

機能: スケジュールリングシステム

機能: 途中下車する観光客には、「次の乗車に間に合うだろうか」という不安がついて回る。当然、想定しているターゲットはその地域の交通情報には詳しくないので、インターネットなどで行きたい場所と交通機関のダイヤとの兼ね合いを調べるという煩雑な作業を行うことになる。PSO システムのスケジュールリングシステムはそれらの煩雑な作業を一手に引き受ける。ユーザーは PSO システムが提案したスケジュール通りに行動するだけでよく、「次の乗車に間に合わないかも」という不安から解放され、存分に観光を楽しむはずだ。

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大きな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大きな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

